

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1934】

会計名称	一般会計			
事務事業名	細々目03 環境学習推進事業			
予算区分	款	03 民生費	所属	環境政策課
	項	04 環境保全対策費		
	目	01 環境保全対策総務費	連絡先	0594-24-1437
	細目	005 スマートエネルギー構想普及事業費		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進	
小学生	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない	
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由	
○申込のあった小学校で環境学習出前講座を行う。 ・講義 (1時限) 地球温暖化、エネルギー、省エネに関する講座 ・参加型学習 (2時限) ①風力発電工作教室 ②省エネルギー教室 ○エネルギー関連施設見学	市域の小学校に対し、授業等の一環として取り組んでもらう必要があることから、市が主体となることが望ましい。	
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)		
出前講座を受講することで電気の大切さを体感し、個々の省エネ意識を高めていけば、その効果は家族を通じて大人へも波及していくことが期待できる。		

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市域の全小学校数	校	28	28	28	28	
	出前講座の実施小学校数	校	14	10	6	10	
成果指標	出前講座の実施率	%	35	35	40	35	
		実績値	50	36	21		
投入コスト	事業費計		310	343	308	597	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円	310	343	308	597
	所要人員 (正職員)	人工	0.31	0.31	0.41		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	2,162	2,195	2,803			

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <p>○ あがっている</p> <p>● 横ばい</p> <p>○ あがっていない</p> <p>H28年度の方向性</p> <p>● 拡充 ○ 休止廃止</p> <p>○ 現状維持 ○ 見直し</p> <p>○ 縮小</p>	<p>27年度の参加児童に対するアンケートにより、児童からの評価は高いことが分かった。そこで28年度より教員に対してもアンケートを実施し、結果を基により実施しやすい講座に改革する。各小学校へのPRを強化し、環境学習の必要性を訴え、増加につなげたい。</p>	